日本包装専士会
ICPPJ

2023年度活動計画

http://www.housou-senshikai.jp/

日本包装専士会　Institute of Certified Packaging Professionals, Japan

ごあいさつ

平素は日本包装専士会に対し格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。去る5月24日に第34回定期総会を開催しました。今総会では前年度活動実績、本年度の活動計画と役員選出の３議案を審査し賛成多数で可決、承認をいただきました。

2023年はポストコロナの初年です。2020年以降、新型コロナウイルス禍により包装技術セミナーの開催を見送ったため、日本包装専士会をアピールする機会が減少しました。5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わり、世の中は行動制限のない日常を取り戻しつつあります。しかし、３年に及ぶ行動制限により人々の生活様式や行動規範が変化したために以前と同じ状況に戻ることはないと思います。そのため日本包装専士会のアピール方法は、ポストコロナの現状に合わせて新たに考える必要があります。本年はTOKYO PACK 2024に備える年になります。関連4団体合同出展の内容検討、TOKYO PACK 2018から３大会続けて公表している包装の未来に関する方針決定など、開催に向けた準備を始めます。

TOKYO PACK 2024への出展をはじめ包装技術セミナーの開催に向けて、包装専士をはじめ包装業界関係者のご助力をお願い申し上げます。

日本包装専士会　会長　嶋　雅文

【2023年度活動内容】～展示・講演・ディスカッション

1）理事会開催

７月、９月、１１月、翌年１月，３月に開催予定。

今年度の活動については、オンラインツールの迅速･同時性と対面対話のコミュニケーションを生かすことのできるハイブリッド形式で実施していきます。また、専士会の会員間や一般包装従事者への情報提供などホームページの充実をはかっていきます。合わせて、包装関係団体との連携にも注力して参ります。

2）委員会活動（抜粋）

・アフターコロナ環境下の新たなセミナースタイルへの対応と専士会の独自性を生かせる開催方法について検討を進めていく。　小規模でも開催できる新たなセミナーの検討も行なう。　（セミナー委員会）

・TOKYO PACK ２０２４出展の準備と情報収集および他団体との連携を継続していく。パッケージングとサステイナビリティに関する海外情報の収集と共有も進める。
（未来包装研究委員会、展示委員会）

・ホームページをさらに見やすく改善と充実、会員向け情報の拡大。（情報システム委員会）

・関西ミニセミナー（会員無料）を継続開催、及び、委員会の開催を５回／年間予定。関西の包装団体との交流も継続。　（関西委員会）